



# といち

平成23年4月28日  
新宿区立戸塚第一小学校  
校長 石井卓之  
No.2

## 新しい自分へのジャンプ

校長 石井卓之

「その銀行は、毎朝あなたの口座に86,400円を振り込みます。そして、あなたがその日使い切らなかった金額は、すべて消され、口座の残高は毎日0円になってしまいます。私たちは、一人一人が同じような銀行をもっています。それは時間です。毎朝、あなたには86,400秒が与えられ、毎晩、上手に使い切らなかった時間は消されてしまい、翌日に繰り越されません。使い切らなかった時間、それは失ったこととなります。過去にさかのぼることはできません。あなたは、今日与えられた貯金の中から、今を生きないといけません。だから、与えられた時間に最大限の投資をしましょう。そして、そこから健康、幸せ、成功のために必要なものを引き出しましょう。時計の針は走り続けています。今日という日に最大限の物を作り出しましょう。」

これは以前見かけたメールの中にあった文章です。時間の大切さについて書かれていますが、私は、この文章を引用し、昨年度の卒業生に贈る言葉として、卒業文集に載せました。

さて、戸塚第一小学校の子供たちは、それぞれ進級の喜びと不安を感じながら、新たな気持ちで学校生活を送っています。新学期は、学級が変わったり、担任の先生が変わったりする中で、今までの自分を変えていこうとがんばっている子供たちがいます。毎日の生活の中で、けじめをつけ、学習をがんばり、それこそ口座の時間を使い切るがごとくに。

この時期に、ご家庭にお願いしたいのが、生活リズムの確立です。年度初めの月曜朝会でも、子供たちに「今年度は、遅刻ゼロを目指します。」と宣言しました、今のところ、昨年度に比べ、遅刻をしてくる子供は格段に減っています。遅刻をした子供も、遅れたことを気にかけて、走って朝会の列に入っています。この変化は、とてもすばらしいことだと思います。学校でも指導はしていますが、当然のこととして、ご家庭の協力なくして、遅刻ゼロは達成できません。そして、遅刻ゼロの背景には、起床時刻を登校時刻に合わせて定刻にする、朝ごはんを食べるなど、朝から脳の働きをよくする、生活リズムの確立があります。

年度当初のこの時期に、子供たちがやる気になっているこの時期に、新しい自分にジャンプできるように、学校とご家庭が協力して進めていきたいと願っています。

## 1年生を迎える会



4月11日の朝、1年生を迎える会がありました。入学式から3日。61名の新入生が、この日初めて全校児童との対面を果たしました。

温かい拍手に迎えられながら入場してきた1年生からは、初々しさの中にも緊張感が伝わってきました。これからは、朝会や集会・休み時間も他の学年の児童と一緒に過ごすことになります。

今後の、戸一小の一員としての活躍を期待しています。

## 5月の行事予定

## 生活指導について

日	曜	朝会・集会	学校行事等	下校
1	日			
2	月	朝会	館山臨時保護者会(6) 遠足(1, 2)	3:45
3	火		憲法記念日	
4	水		みどりの日	
5	木		こどもの日	
6	金		遠足(3,4)	3:45
7	土			
8	日			
9	月	朝会		3:45
10	火		安全指導 尿(2次) 内科(1,3,5幼)1:20~	3:45
11	水	たて①	尿(2次)追加	1:20
12	木		水道キャラバン(4) 委員会活動	3:45
13	金	集会	6年事前検診 心臓(1)9:00~ 内科(2,4,6)1:20~ PTA 総会4:00~	3:45
14	土			
15	日			
16	月	朝会	↓ 館山移動教室	3:45
17	火		↓ 給食試食会	3:45
18	水		早時程 午前授業	1:00
19	木			2:35
20	金	音楽	中学年遠足予備日	3:45
21	土			
22	日			
23	月	朝会	眼科(全・幼)1:20~	3:45
24	火		避難訓練 低学年遠足予備日	3:45
25	水	運動	航空写真撮影	2:20
26	木		歯科(2,4,6)9:00~	3:45
27	金			3:45
28	土		土曜授業135周年集会	12:00
29	日			
30	月	朝会	教育実習始(~6/17)	3:45
31	火			3:45

「子供らしさ」という言葉があります。子供特有の愛らしく、無垢で屈託のない素直な心を連想します。また一方で「人間らしさ」という言葉もあります。ここで考えたいことは「子供らしさ」は「人間らしさ」の中にあって初めて輝くのではないかということです。「子供らしさ」は決して「人間らしさ」と違った別の所にあるわけではないと思います。「人間らしさ」に裏打ちされた「子供らしさ」を、戸一小の子供達をもってほしいと願っています。わがままに流されない、自分をしっかりと律することができる子供、学習の尊さを自覚でき、友達と一緒に頑張って勉強できる子供、そして友達を大切にする子供。これらの願いが「戸一スタンダード」として本年度取り組まれようとしています。どの子にとっても、どの学年にとっても、大切な守るべき姿を追求し、実践していく。そのためには家庭の協力が不可欠です。学校での取り組みは可能な限りお知らせします。近々「生活だより」で戸一小の一日の流れと、子供たちが守る約束「戸一の子ども」をお伝えします。ご理解・ご協力のほどを宜しく願います。

## 日本語教室より

国際化の進展に伴い、外国での生活を経験した後、日本の学校で生活をする児童が増えています。現在、新宿区では150名ほどの児童が日本語のサポート指導を受けており、本校では現在4名の児童が週に数時間日本語教室での学習を行っています。

4名の児童は、本人たちの努力やご家庭のご協力により、日本に来たときよりも日本語の力が大きく付いてきています。日常会話に関しては問題のない子がほとんどです。

私自身が外国語を学習して習得するよりも遥かに速く正確に身に付いており、子供たちの力に感心しています。それぞれ、習得している日本語の量は違いますが、今年度は、授業内容を理解することができるように、学習言語を身に付けようとして一人一人ががんばっています。学習で使う語彙量や抽象概念の語彙などを増やし、スムーズに学級での学習が行えるよう、日本語教室で取り組んでいきたいと思っています。

